

患者ID:@PATIENTID

2008.11.13作成

@PATIENTNAME 様

大腸化療(アービタックス)

2012.2.8改訂

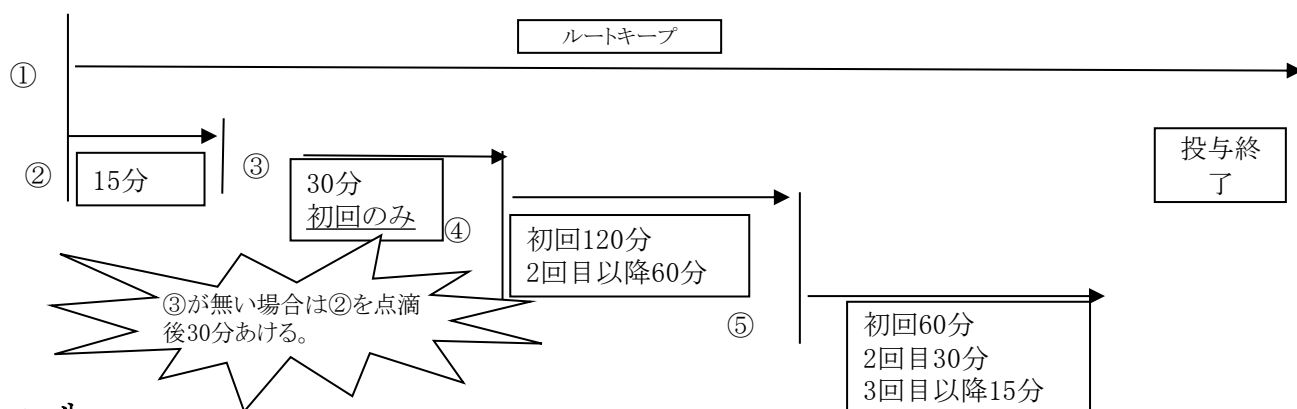
指示者	@USERNAME
コース数	

身長	HEIGHT01_Do	cm
体重	VHEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m ²

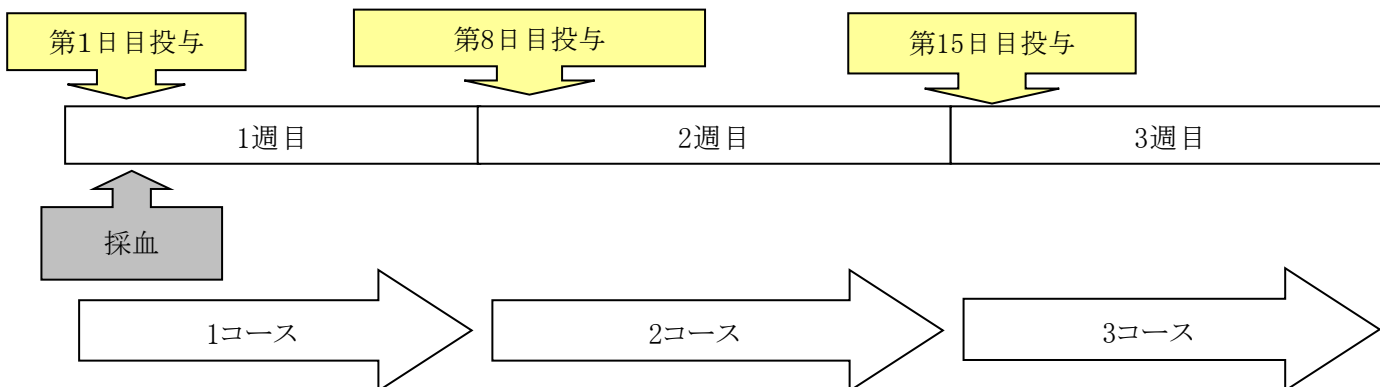
実施印

	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	生理食塩水500mL	ルートキープ	点滴	
②	ポララミン注1A 生食50mL	15分	点滴	
③	生理食塩水100mL デカドロン3.3mg 5A	初回のみ投与 30分	点滴	初回のみ
④	アービタックス 初回:400mg/m ² 2回目以降250mg/m ² 初回:生食500mL 2回目以降:生食100mL ()mg/body #VALUE! 初回の計算値 #VALUE! 2回目以降の計算値	初回120分 2回目以降60分	点滴	
⑤	経過観察	初回60分 2回目30分 3回目以降15分	経過観察	

投与手順



スケジュール



注意

皮疹が強いつきはアービタックス減量以下資料を参照

皮膚乾燥にはヒルドイドやウレパール

EGFR陽性の患者のみ適応あり。

KRAS 変異の場合は効果が悪いとの報告あり。

アービタックス終了後の生食は経過観察のためである。特に初回はインフュージョンリアクションに気をつける。

副作用

有害事象名	n=155		有害事象	n=39	
	全Grade (%)	Grade \geq 3 (%)		全Grade (%)	Grade \geq 3 (%)
発疹	58 (50.4)	5(4.3)	便秘	17(14.8)	0 (0.0)
ざ瘡	32 (27.8)	1(0.9)	無力症	42(36.5)	5(4.3)
皮膚乾燥	25 (21.7)	1(0.9)	頭痛	17(14.8)	2(1.7)
下痢	16(13.9)	1(0.9)	悪心	13(11.3)	1 (0.9)
発熱	40(34.8)	0(0.0)	口内炎	13(11.3)	1 (0.9)

皮疹CTCAE ver3によるGrade

有害事象	Grade1	Grade2	Grade3	Grade4	Grade5
皮疹 落屑	自覚症状を伴わない斑状/丘疹状の皮疹または紅斑	掻痒感や随伴症状を伴う斑状/丘疹状の皮疹または紅斑 体表面積の50%以下を占める落屑	高度又は全身性の紅皮症や斑状/丘疹状/小水泡状の皮疹 体表面積の50%以上を占める落屑	全身性の剥脱性/潰瘍性/水泡性皮膚炎	死亡

Grade3以上の皮膚症状発現時の対応

Grade3以上の皮膚症状の発現回数	アービタックスの投与	投与延期後の状態	用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目の発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目の発現時	投与中止	-	-

NCIC CTG CO.17/CA225-025 (イリノテカンおよびオキサリプラチンを含む化学療法不応となったEGFR陽性の転移性大腸癌572例)

	アービタックス+BSC	BSC
奏効率	6.62%	0.00%
PFS	1.9ヶ月	1.8ヶ月
OS	6.1ヶ月	4.6ヶ月

薬剤費 (体表面積1.5m²の場合)注射薬価1回あたり:143,576円